

【主担当部局：農林水産部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

さまざまな主体によって創出された県産農林水産物の魅力を生かした新たな価値が、多様な商品・サービスとして広く提供されることで、県民の皆さんの豊かな暮らしや「持続可能なもうかる農林水産業」の実現につながっています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
「みえフードイノベーション」や新たなブランド認定から生み出される県内事業者の商品等の売上額（累計）		9億円		15億円		30億円
	4億円					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	農林水産資源を高付加価値化する「みえフードイノベーションプロジェクト」から生み出された県内事業者の商品等の売上額および新たに「三重ブランド」に認定された事業者の商品等の売上額の合計					
3年度目標値の考え方	県内事業者の商品等の売上額と新たに三重ブランドに認定された商品等の売上額の合計額を令和5年度に30億円とすることを目標として設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
企業等と連携したスマート農林水産業の実践数（累計）		25件		40件		80件
	10件					
県産農林水産物のブランド力向上に取り組む事業者数（累計）		18者		33者		57者
	7者					
農林水産業の国際認証等を活用した新たなマッチングによる取引件数（累計）		25件		45件		85件
	10件					

現状と課題

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、SDGsや地産地消に対する意識が高まるなど、農林水産業を取り巻く状況が大きく変化していることから、農林水産事業者等は、より一層地域資源を活用した競争力の高い商品・サービスの開発や、地域間の連携、消費者ニーズに対応していく必要があります。また、6次産業化については、新商品の開発が必ずしも収益増につながっていないことから、事業者の経営改善を支援していく必要があります。
- ②農林水産物の効率的な生産や品質向上、利用拡大に向けて、さまざまな知識・情報・データの共有や組み合わせなどを進め、農林水産技術の研究開発に取り組むとともに、開発した技術を生産現場等へ移転する必要があります。
- ③「三重ブランド」をはじめとするストーリー性のある県産農林水産物への関心・評価が高まっていることから、これらが有する本質的な価値に着目したブランド力の向上と消費者等に的確に魅力を伝えていく取組を強化する必要があります。また、「第3次食育推進計画」の期間中に明らかになった学校や保育所、地域等での課題をふまえ、食育の推進を図る必要があります。
- ④県産農林水産物の魅力発信や販路拡大において、新型コロナウイルス感染症の影響によるビジネス環境の変化に対応するため、オンライン等のツールを活用した販路開拓等を支援する必要があります。また、東京2020大会を契機として、県産食材のプロモーションを行うとともに、関係者が一丸となってGAP等の認証取得と販路拡大に取り組む必要があります。

令和3年度の取組方向

- ①オンラインを活用した事業者の交流促進や特徴のある県産農林水産物の素材提案などを行うことにより、新たなプロジェクトの創出や商品化に向けた取組を進めます。また、新たにSDGsや地産地消に対する意識が高い消費者を巻き込み、農林水産事業者と消費者・実需者が双方向でつながり協働する仕組みへと、みえフードイノベーションネットワークを進化させ、農林水産業の魅力を高め、地産地消の推進と地域の活性化につなげます。さらに、6次産業化については、引き続き、6次産業化サポートセンターを設置し、現場の課題やニーズに応じた研修会を行うとともに、個別支援による事業者の経営改善に取り組めます。
- ②農林水産物の効率的な生産や品質向上を図るとともに、データプラットフォームを活用しながら、競争力の高い商品・サービスの開発やデータを活用したスマート農林水産業の促進に取り組めます。また、農畜林水産分野の各研究所が主体となり、それぞれの生産現場における課題解決や商品化に必要な技術の研究開発に取り組むとともに、実証研究を通じて得られた成果の農林水産事業者等への技術移転に取り組めます。
- ③コロナ禍においても、ストーリー性のある農林水産物は、支持・購入され続けていることから、引き続き、本質的な価値に着目し、さまざまな環境変化に対応しながら、新たなビジネスモデル等の創出にチャレンジする人材を育成する研修会をオンラインで開催します。また、新たに策定する「第4次三重県食育推進計画」に基づく食育推進を、市町等関係機関と連携して取り組めます。
- ④国内外における販路拡大等に向け、オンライン等を活用し商談会等を開催するとともに、県産食材のプロモーションに取り組めます。また、東京2020大会に加え、太平洋・島サミット、三重とこわか国体・とこわか大会に向けて、引き続き、県産農林水産物の販路拡大の強化を図るとともに、GAP等の認証取得と販路拡大に取り組めます。

主な事業

①みえフードイノベーション総合推進事業

【基本事業名：31101 新価値創出と戦略的プロモーションの展開】

予算額：(R2) 72,519千円 → (R3) 109,949千円

事業概要：「みえフードイノベーション」のさらなる拡大を図るとともに、ネットワーク活動を通じた県産農林水産物の活用促進に取り組みます。また、6次産業化サポートセンターにより、6次産業化に取り組む意欲ある生産者等への支援を実施します。

②（新）みえ食と農林水産連携プロジェクト推進事業

【基本事業名：31101 新価値創出と戦略的プロモーションの展開】

予算額：(R2) ー千円 → (R3) 5,000千円

事業概要：オンラインを活用して、新商品、新サービスの開発に向け、県内農林水産事業者、飲食店等の実需者に加え、消費者など関係者がつながる仕組みの構築やプロジェクトの創出に取り組みます。

③みえスマートフードチェーン促進事業

【基本事業名：31102 農林水産技術の研究開発と移転】

予算額：(R2) 8,372千円 → (R3) 6,280千円

事業概要：生産現場から加工、流通、販売にいたる、さまざまな事業者が連携して、みえの農業の特色を生かした、データサイエンスに基づくスマートフードチェーンシステムの構築を図ります。

④農業技術高度化研究開発推進事業【基本事業名：31102 農林水産技術の研究開発と移転】

予算額：(R2) 195,676千円 → (R3) 87,496千円

事業概要：競争的研究資金の活用や、国等から委託、民間企業等との共同研究により、水田農業や果樹、茶、花き花木など県内農業の振興に生かすことができる高度な技術的課題を解決するための研究開発に取り組みます。

⑤畜産関係県単経常試験研究【基本事業名：31102 農林水産技術の研究開発と移転】

予算額：(R2) 41,569千円 → (R3) 34,619千円

事業概要：畜産経営体等の経営課題の解決に向け、県内畜産業の生産性の向上や売れる商品の創出につながる研究に取り組みます。

⑥林業技術開発事業【基本事業名：31102 農林水産技術の研究開発と移転】

予算額：(R2) 6,350千円 → (R3) 7,060千円

事業概要：林業研究所において、共同研究や国からの交付金も活用して、「農林業被害防止のためのくくり罫による効率的なニホンジカ捕獲方法の開発」など、県民ニーズに基づく試験研究を行うことで、林業・森林づくりを支える技術を開発します。

⑦水産業技術高度化研究開発推進事業【基本事業名：31102 農林水産技術の研究開発と移転】

予算額：(R2) 33,003千円 → (R3) 29,205千円

事業概要：ノリ、真珠、カキ養殖の生産技術やへい死被害対策、マハタの種苗生産技術、アサリやハマグリなど二枚貝の増殖技術、漁船漁業の資源管理のためのデータ収集技術など、AI・ICT等の活用も含む生産技術の高度化や課題解決のための研究開発に取り組みます。

⑧（一部新）戦略的ブランド化推進事業【基本事業名：31103 ブランド力向上の推進】

予算額：(R2) 2,337千円 → (R3) 7,411千円

事業概要：特に優れた県産品とその事業者を三重ブランドとして認定して情報発信することや、県事業で創出されたプロジェクトを事業化につなげるため、国の地域食農連携プロジェクト（LFP）の支援を通して、県産農林水産物のイメージアップとブランド力向上を図ります。

⑨食で生みだす絆づくり・輪づくり推進事業【基本事業名：31103 ブランド力向上の推進】

予算額：(R2) 4,148千円 → (R3) 4,115千円

事業概要：「第4次三重県食育推進計画」に基づき、多様な主体と連携し、食育や地産地消に関する情報発信に取り組みます。

⑩みえの農林水産情報発信スマート化事業【基本事業名：31103 ブランド力向上の推進】

予算額：(R2) 6,469千円 → (R3) 3,352千円

事業概要：県産農林水産物のデータの見える化と情報発信のスマート化を推進することにより、みえの食が有する本質的な価値への共感を呼び込み、県産農林水産物を活用した商品およびサービスの付加価値向上を図ります。

⑪東京オリ・パラを契機としたみえの食材イノベーション事業

【基本事業名：31104 農林水産業の国際認証取得の促進と活用】

予算額：(R2) 1,965千円 → (R3) 1,472千円

事業概要：GAP等認証食材やストーリー性の高い食材を中心とする三重県産食材の使用率向上へとつなげるため、オンライン等のツールを活用したプロモーションに取り組みます。

⑫「広がれGAPの輪」推進支援事業

【基本事業名：31104 農林水産業の国際認証取得の促進と活用】

予算額：(R2) 10,553千円 → (R3) 8,755千円

事業概要：地域GAP推進チームが中心となり、国際水準GAPの認証取得や実践をめざす農業経営体や産地の支援に取り組みます。また、農業大学校等におけるGAP認証取得の取組を通じて、農業を担う若い世代がGAPを学び、実践できる環境の整備を支援します。さらに、食品事業者や消費者のGAP認知度向上に向け、PRや販促フェア等を開催します。